

MRI 検査を受けられる方へ

検査日時 月 日 時 分

大垣市民病院 MRI 検査室

【検査についての説明】

1. MRI 検査とは、磁場と電波を利用し体内の水素原子からの情報をもとに、体の中の構造をコンピュータにて変換し画像化(絵に)する検査です。
2. この検査は、安全であり、人体における副作用は問題ありません。なお、従来のエックス線コンピュータ断層装置(CT)と比べ放射線被曝は全くありませんが、その反面検査に若干時間がかかります(検査部位、方向によって異なりますが約 30 から 60 分程度)ので、あらかじめご了承ください。
3. 検査中にカンカン、トントン、コンコンと物を打つような音がしますが、機械の信号変換時に出る音ですので気にせず安静にしてください。
4. 検査中には絶対動かないでください。動くとも画像(絵)ができず、時間をかけて検査をしても無駄になる可能性がありますので十分注意してください。なお、小児の場合は体動防止のため睡眠薬等を使う可能性がありますのでご了承ください。
5. 検査はトンネルのような大きな磁石の中に入っていきますが、テレビカメラ、ハンドブザーにて患者さんの様子は随時監視し、集音マイクによる通話も行っていますのでご安心ください。
6. MRI 検査は磁場と電波を利用するため、体内・体外にどんな小さな金属類をも付けたまま検査を受けることはできません。特に体内に心臓ペースメーカー、クリップなどの医療器具や金属を装着されている方は検査ができない場合もありますので事前に申し出てください。
7. 妊娠中、妊娠の可能性のある方は申し出てください。

【検査当日の注意事項】

1. ホック・ファスナー・チャック等のない服装で、ネックレス・イヤリング・指輪等装身具は装着せず、ヘアピン等は取りはずし、貴重品はなるべく持たずに来院してください。
2. 次に該当するものを持っている方は、更衣室備え付けロッカーに入れるか、もしくは付添いの方に預けてください。ロッカーは、必ず鍵をかけて担当の女子職員または技師に預けてください。また盗難・故障等については一切の責任を負いかねますので、貴重品・装身具は出来る限り持参しないでください。
 - ・磁気カード(クレジットカード、キャッシュカード、テレホンカード等)
 - ・健康器具(磁気バンド、磁気ネックレス、エレキバン、カイロ、湿布薬、その他)
 - ・装身具(ネックレス、ヘアピン、ブレスレット、指輪、その他)
 - ・金属類(時計、携帯電話、ポケットベル、眼鏡、補聴器、小銭、鍵、ライター、その他)
3. 検査日時を厳守してください。特に、お子様(6 歳以下)は、前処置があるため 30 分前に来院してください。
4. 腹部、骨盤の検査を受けられる方は、検査前一食の絶食をお願いします。

【造影剤を使用した MRI 検査を受けた後に】

検査後、数日経って腎機能に障害が現れる場合がありますので、検査から1週間後あたりに紹介元の医療機関で腎機能の検査を行っていただきますようお願いいたします。

* 検査日時に来院できない場合は、できるだけ早くご連絡いただきますようお願いいたします。

大垣市民病院 よろず相談・地域連携課
地域連携部門